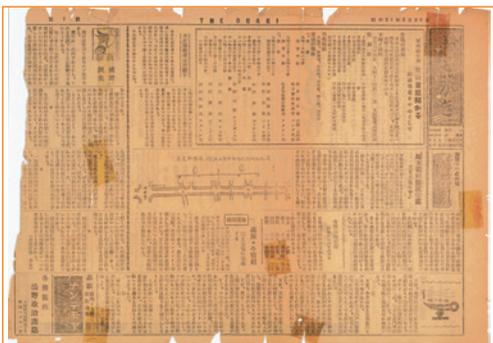




市民の誓い 私たちは水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います



市マスコットキャラクター おがっけい&おあむちゃん



7号(現存する最も古い広報おおがき) 昭和24年3月20日発行



100号 昭和26年1月12日発行



200号 昭和27年12月19日発行



300号 昭和30年3月25日発行



400号 昭和33年1月5日発行



500号 昭和36年12月1日発行



600号 昭和41年2月15日発行



700号 昭和45年4月15日発行



800号 昭和49年6月15日発行



900号 昭和53年8月15日発行



1000号 昭和57年10月15日発行



1100号 昭和61年12月15日発行



1200号 平成3年2月15日発行



1300号 平成7年4月15日発行



1400号 平成11年6月15日発行



1500号 平成15年8月15日発行



1600号 平成19年10月15日発行



1700号 平成23年12月15日発行



1800号 平成28年2月15日発行



1900号 令和2年4月15日発行

広報おおがき 2000号を迎えました

昭和24年2月6日の創刊以来、75年以上にわたり大垣市の姿を伝え続けてきた「広報おおがき」が、今回で2000号を迎えました。

これまでの軌跡として、100号ごとの節目の表紙をずらりと掲載しました。現存する最も古い「広報おおがき」が第7号の紙面です。

創刊当時は毎週金曜日発行で、1部1円50銭で販売され、「おおがき新聞」として親しまれてきたそうです。新聞をイメージした題字も当初から掲載しており、現在の題字デザインは市民公募により選ばれ、平成6年1月1日号から使用しています。大垣のシンボル

として親しまれている大垣城と住吉燈台を左右にデザインし、中央に水門川の流れと鯉が描かれ、水都大垣を表現しています。

発行形態や文字サイズの変更、カラー面の登場など、これまでの変遷は下の記事をご覧ください。

広報おおがきは、いつの時代も市民の皆さんに親しまれる紙面づくりを心がけ、市民の皆さんと市役所を結ぶ架け橋となり、大垣市の歩みをしっかりと記録してきた貴重な財産です。その大切な役割を果たしていけるよう、これからも取り組んでいきます。

広報おおがきの変遷

- ◇昭和24年2月6日／創刊。毎週金曜日発行。大きさは、現在と同じタブロイド判で、文字サイズ11級(2.75mm)の縦書き2ページ。有料で1部1円50銭
- ◇昭和29年4月／毎月5・15・25日の旬刊に変更
- ◇昭和32年4月／無料になり、全世帯に配布
- ◇昭和33年4月／毎月1・15日発行の現在の発行ペースに変更
- ◇昭和35年4月／縦書きから、現在と同じ横書きへ変更

- ◇昭和50年4月／15日号を全4ページに紙面を拡大
- ◇昭和56年4月／毎号全4ページに紙面を拡大
- ◇昭和57年4月／文字サイズを12級(3.0mm)へと大きくする
- ◇平成2年4月／文字サイズを13級(3.25mm)へと大きくする
- ◇平成2年5月／3色刷りの市民カレンダーの発行開始
- ◇平成3年4月／15日号を全6ページに紙面を拡大
- ◇平成6年1月／現在も使用している市民公募の題字デザインを採用

- ◇平成7年4月／15日号を全8ページに紙面を拡大し、表紙と裏表紙をカラー化
- ◇平成14年10月／毎号全8ページに紙面を拡大。文字サイズを14級(3.5mm)へと大きくする
- ◇平成18年4月／毎号全12ページに紙面を拡大
- ◇平成21年4月／毎号表紙と裏表紙をカラー、中面を2色刷りに変更
- ◇平成22年8月／文字サイズを15.2級(3.8mm)へと大きくする
- ◇令和4年3月／字体をユニバーサルデザインに対応した「UDフォント」に変更

6月15日号 主な内容

- ▶第2回市議会定例会が開会、市民病院 豊田院長のコラム、SNSで防災情報を配信など …2~3P
- ▶募集・講座のお知らせなど …4~5P
- ▶子育ての催しなど …6~7P
- ▶催しのお知らせ、市民伝言板など …8~9P
- ▶健康ガイド …10~11P
- ▶デジタル版プレミアム付商品券を「ガキペイ」アプリで販売、ハナハスマつりなど …12P